

ため池、水田の雨水貯留 Q&A

Q1：水田貯留に取り組める補助事業は？

A1：農業の多面的機能の発揮のための地域活動に対して支援する「多面的機能支払交付金制度」を活用することが可能です。

Q2：水田貯留は、稲の生育に影響はないの？

A2：稲が水没しない限り特に問題ありません。稲が概ね20cm以上になってから取り組んで下さい。

Q3：未整備の水田やため池でも実施可能ですか？

A3：整備済みの水田やため池を対象としています。

お問い合わせは兵庫県庁もしくは近くの県民局・県民センターへ

【県庁】

(水田) 農地整備課 農村計画班 TEL078-362-3431 〒650-8567 神戸市中央区下山手通
(ため池) 農村環境室 農村整備班 TEL078-362-3434 5-10-1

【県民局・県民センター】

神戸県民センター神戸土地改良センター TEL078-361-8562 〒650-0004 神戸市中央区中山手通 6-1-1

阪神北県民局阪神農林振興事務所 TEL079-562-8913 〒669-1531 三田市天神 1-10-14

北播磨県民局加古川流域土地改良事務所 TEL0794-82-9824 〒673-0423 三木市宿原字寺ノ前 70

中播磨県民センター姫路土地改良センター TEL079-281-9369 〒670-0947 姫路市北条 1-98

西播磨県民局光都土地改良センター TEL0791-58-2218 〒678-1205 赤穂郡上郡町光都 2-25

但馬県民局豊岡土地改良センター TEL0796-26-3716 〒668-0025 豊岡市幸町 7-11

但馬県民局朝来土地改良センター TEL079-672-6896 〒669-5202 朝来市和田山町東谷 213-96

丹波県民局篠山土地改良事務所 TEL079-552-7419 〒669-2341 篠山市郡家 451-2

淡路県民局洲本土地改良事務所 TEL0799-26-2116 〒656-0021 洲本市塩屋 2-4-5

平成26年4月発行

始めませんか！ため池や水田での雨水貯留

近年、浸水被害が大きくなっています。



○近年、都市化の進展や局地的な集中豪雨の発生で、従来よりも雨水の流出が増え、浸水による被害が拡大しています。川幅を広げるような河川整備に加えて、みんなの地域をみんなで守る取組が必要となってきています。

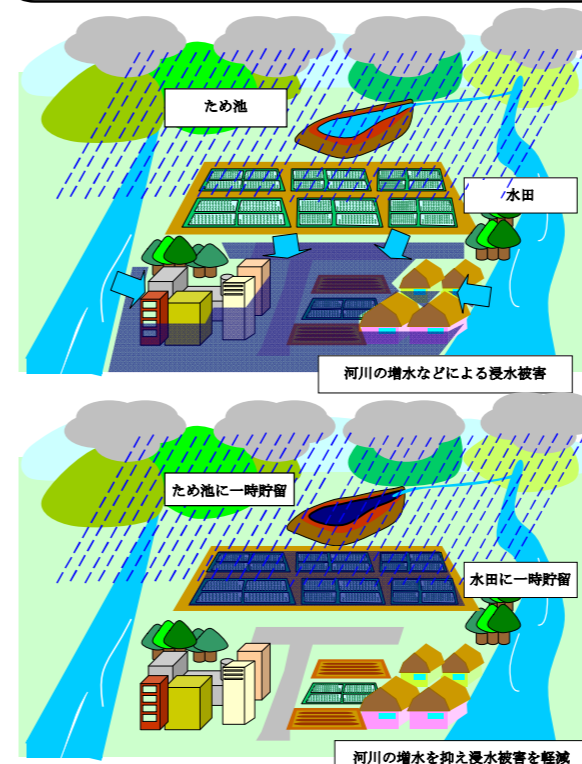


知っていますか。

○ため池や水田には雨水を一時的に貯留する治水ダムのような機能が備わっています。ため池と水田を維持管理し、少しの工夫をみんなですれば、大きな洪水防止効果が期待できます。

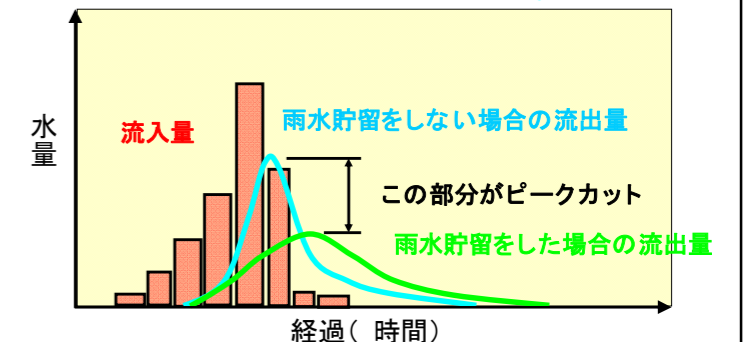
ため池や水田での雨水貯留の効果

○もし県内全域の整備済水田で10cmの雨水を貯留した場合、43百万トンが貯留出来ます（東京ドーム35杯相当）。このような大きな効果が期待できる雨水貯留。みんなの地域をみんなで守る取組を始めませんか。



都市化や局地的な集中豪雨の発生により、浸水被害が拡大。

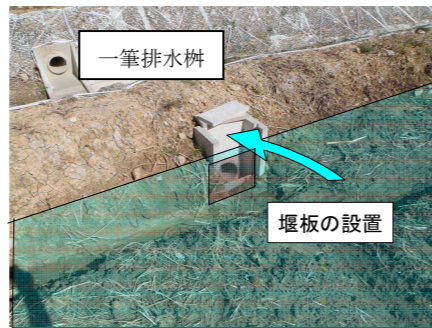
ため池や水田に一時的に貯留して、洪水量のピークを減らします。



ため池や水田への一時的な雨水貯留により、浸水被害を軽減。

水田貯留の取組方法

- 一筆排水柵に堰板を設置します。堰板を高くすることにより、田んぼに一時的に洪水を貯留します。堰板を作って、排水柵に設置すれば準備完了です。
- あぜが脆弱化している場合は、あぜ塗り機等で補強して下さい。



一筆排水柵に堰板を設置

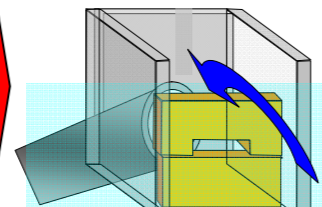
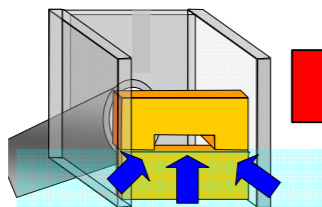
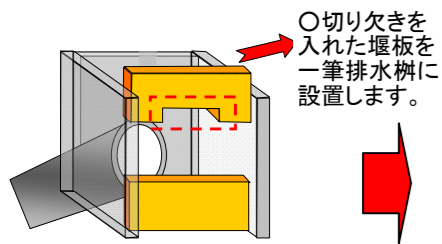
あぜ塗り機による畦畔補強



○重ね木タイプ

通常時

洪水時



一筆排水柵に堰板を設置する

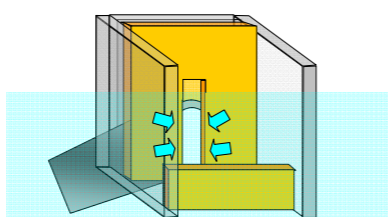
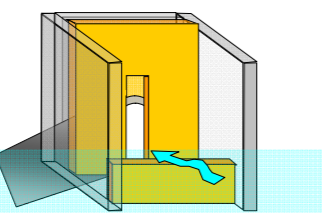
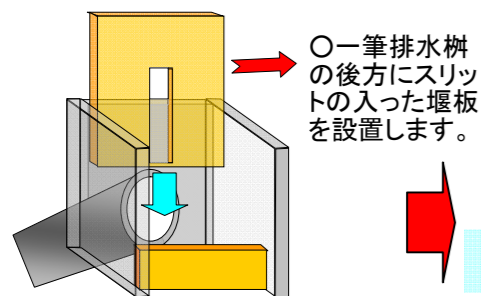
切欠きから排水される

水位が上がり堰板を越えて排水される

○スリットタイプ

通常時

洪水時



日常の水管理は、今までどおり前面の堰板で行えるので、スリットは設置したままでOKです。

取り組む時期は？

○出水期の5月から11月末までの間で取り組んで下さい。稲の品種により時期は異なりますが、中干し期や収穫前の落水期には取り組まなくて結構です。

水管理と水田貯留との関係 (例)

* 水管理、稲作作業の内容と期間は地域や品種によって異なります

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
稲作作業	播種	田植 元肥・代かき 苗箱防除 除草剤		穂肥 茎幹防除		収穫			
水管理		やや深水	落水 中干し	間断かん水	たん水状態 間断かん水	落水			
水田貯留			中干し期は除く			収穫前の落水期は除く			

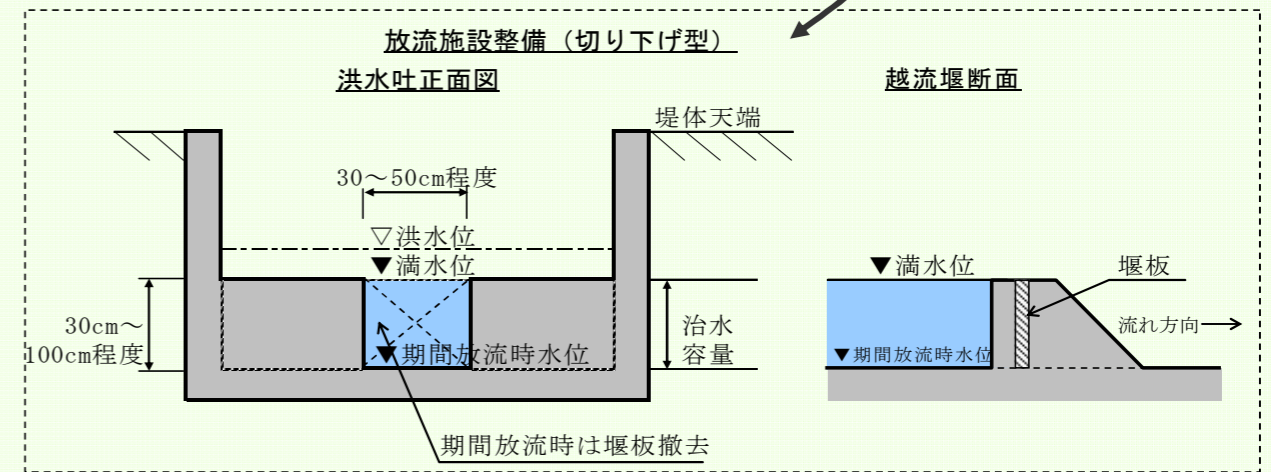
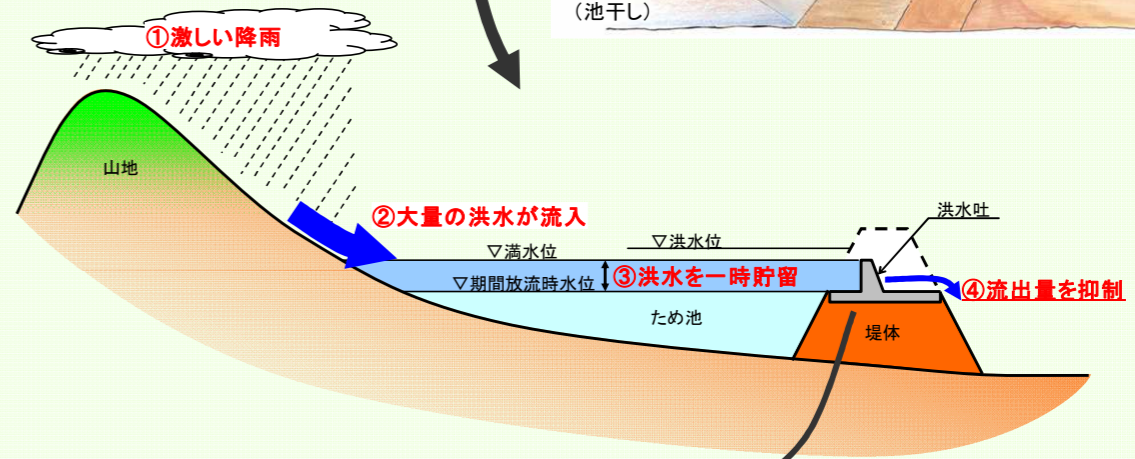
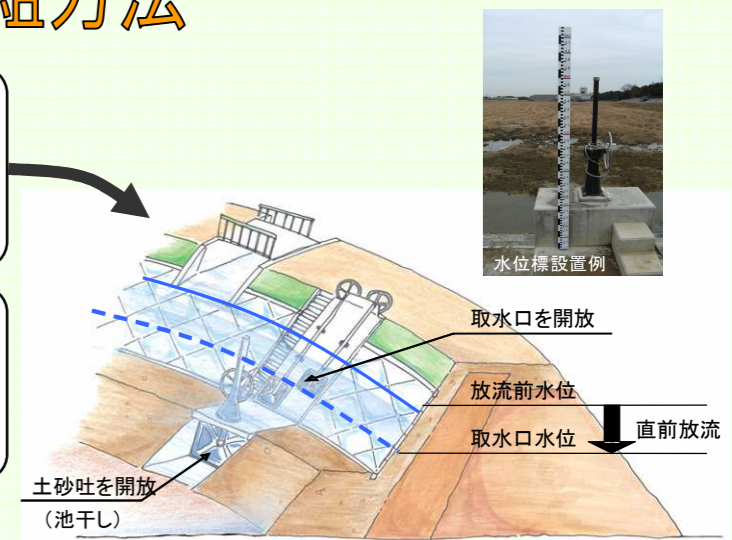
ため池貯留の取組方法

○直前放流方式

かんがい用取水口を開放し、あらかじめ決めておいた放流水位(水位標の設置など)に達するまで貯留水を放流します。

○期間放流方式

洪水吐の越流堰を一部切り下げるなどした施設を整備し、あらかじめ期間を決めてこれを常時開放し、一定水位以上貯まらないようにします。



取り組む時期は？

- 直前放流の実施は集中豪雨の発生頻度が高い梅雨から秋までが最も効果があります。
- 地域の事情に応じ、農業用水の確保が優先される時期を避け、台風による豪雨被害が多い9月頃から秋までの取組でも十分に効果があります。

区分	非かんがい期間		かんがい期間				非かんがい期間		
	1~5月		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
直前放流			⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	
期間放流					⇐	⇐	⇐	⇐	